

資料提供
令和7年10月30日
危機管理部危機対策課
課長 谷内 勇人
TEL 076-225-1480 内線4280

令和7年度(第66回)石川県防災総合訓練の実施について

1 目的

地震などの自然災害の発生に際し、災害応急対策に万全を期すため、防災関係機関及び地域住民の参加のもと、総合的な防災訓練を実施し、関係機関等の連携強化を図るとともに、広く県民の防災意識の高揚を図る。

2 日時

令和7年11月2日(日)午前8時～12時

3 場所

かほく市

(県立看護大学グラウンド、高松中学校 など)

4 主催

石川県、かほく市

5 参加機関及び参加人員

約100機関 約10,000人(住民含む)

6 訓練想定

- ・加賀地方で、未明から線状降水帯が発生し、急激な降雨となり、気象庁から「顕著な大雨に関する情報」が発表され、県は災害対策本部を設置
- ・その後、邑知潟断層帯を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、かほく市で最大震度7を観測
- ・家屋倒壊や土砂災害が発生し、一部の地域で火災が発生

閉会式終了後、馳知事のぶら下がり取材を行います。

7 主な訓練内容

① 孤立集落対策

- ・山間部の若緑地区（30世帯、74人）を孤立集落と見立てて住民の参集訓練を実施
- ・衛星通信機器を住民が設営
- ・ドローンを活用して孤立集落の確認及び医薬品等の物資を輸送

② 要配慮者対策

- ・個別避難計画を活用し、高松中学校体育館へ避難誘導した上、医療チームが健康状態を確認

③ 実動機関による訓練や防災資機材の展示

- ・能登半島地震の教訓を踏まえ、土砂災害の詳細（被災者は何人で、どこにいるのか）が分からぬ状況で警察・消防・自衛隊・災害救助犬が協力した捜索救助を実施
- ・水循環式トイレカーの利用体験、キッチンカーによる食事提供、簡易ベッドの設営体験、水循環型シャワー・水循環型手洗いスタンド・モバイルファーマシー（災害対策医薬品供給車両）などの展示
- ・耐震模型や感震ブレーカーの展示、食料備蓄例の紹介など

（参考）知事・かほく市長（訓練本部長・訓練副本部長）の訓練視察順路（予定）

8:30～9:40 9:50～12:00
高松中学校周辺 → 県立看護大学グラウンド